

### シリーズ「国保」No.5

## （退職者の医療）

会社や役所に勤めて退職し、厚生年金や共済年金をもらっている69才までの人は退職被保険者となり、その家族といっしょに、退職者医療制度によって診療を受けることになります。

### ●退職被保険者の条件

次の三つの条件にあてはまる必要があります。

- ・ 国保の被保険者であること。
- ・ 後記（○条件となる年金制度）の法律にもとづく年金制度から老齢（退職）年金をもらっている人。
- ・ 老人保健の適用をうけていない人。

### ●保険税

退職被保険者の保険税は国保の一般被保険者に準じて算定され、世帯単位に割りあてられます。

### ●退職者医療制度の給付

退職者医療制度では受診の場合、次のような給付がうけられます。

- ・ 退職被保険者本人の場合  
外来、入院とも医療費の80%給付（自己負担20%）
- ・ 扶養家族の場合  
外来受診→医療費の70%給付（自己負担30%）  
入院→医療費の80%給付（自己負担20%）

### ●扶養家族

退職被保険者の扶養家族は次の人です。

退職被保険者といっしょに暮らし、主として退職被保険者の収入によって生計を維持している次の人

- 1 退職被保険者の直系尊属、配偶者（内縁関係でもよい）及び三親等内の親族。
- 2 配偶者（内縁関係でもよい）の父母及び子（配偶者が死んだあとでもよい）

- ・ 退職被保険者本人が70才（寝たきりの人は65才）になって、老人保健の適用をうけるようになったとき、また死亡された人の扶養家族は国保の被保険者となります。
- 条件となる年金制度  
・ 厚生年金保険法

## 交通事故防止のために

### ★雪道走行のテクニック

冬季における車両の運転操作は、積雪、凍結の状態及び勾配等道路状況の変化に対応した方法が必要となりますが、走行時の安全確保のため、次の事項にしてください。

- (1)積雪又は凍結路においては、低速ギアでゆっくり発進し、タイヤを空転させない。
- (2)急坂路では、登り終るまで低速ギアを使用し、途中でギアチェンジをしない。
- (3)急発進、急加速、急旋回及び急停止は、避ける。また、減速や停止時には、尻振りやスピンを防ぐため、断続的にブレーキを踏んだり、エンジンブレーキ操作を有効に使う。
- (4)カーブに入る前に必ず減速し、カーブ内で加速したり、減速することは、走行不安定となる。
- (5)積雪または、凍結路を走行する場合は、速度を控え目にし、また、車間距離は十分とって走行する。
- (6)常時、シャベルや砂袋等を積

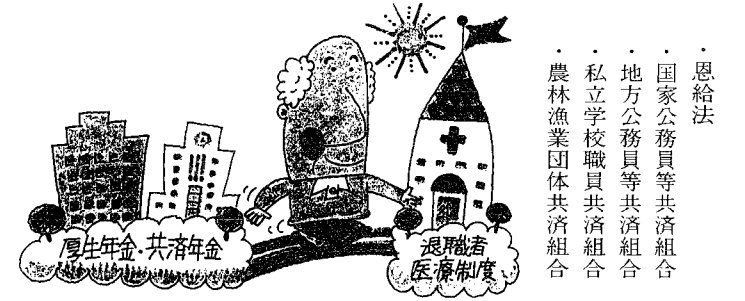
### スタッドレスタイヤの特徴

#### ●スタッドレスタイヤとは

文字通りスタッド（スパイク）のないタイヤのことです。低温でも「しなやかさ」を失わない特殊配合ゴムを使い、タイヤの溝の形状などを工夫したもので、凍結路における走行性能を高めた新しい冬用タイヤです。

#### ●スタッドレスタイヤのメリット

氷の上では、雪柱せん断力が働かず滑ってしまいます。スパイクタイヤは、このようなとき、スパイクを氷に喰い込ませて大きな抵抗を得ています。そこで、スタッドレスタイヤは、スパイクタイヤとは全く異



## 冬道の安全走行につとめましょう!

- この時期は、スリップ事故等、冬期間特有の交通事故が多発する傾向にあります。
- ◆冬道の安全運転五則  
①スピード10キロダウン、安

## 交通事故相談のご案内

### ▽交通事故の相談は

まず県の交通事故相談所へ相談所では、

- ・ 損害賠償請求をどうすればよいか。
- ・ 損害賠償額はどのように算定するのか。
- ・ 示談の進め方は。
- ・ 自動車損害賠償保険金の請求は。
- ・ 治療と労災保険・社会保険の利用は。

などについて専門の相談員が相談に応じていますのでお気軽に相談ください。

### ▽相談は無料です

・ 専門の相談員が相談に応じています。

- ・ 弁護士による相談も受けられます。
- ・ 本人のほか家族、雇主、知人など、どなたが相談にみえても結構です。
- ・ 詳しくは、相談所にお問い合わせください。

### ▽相談所のご案内

常設相談所  
新潟相談所

## 統計あれ?これ!

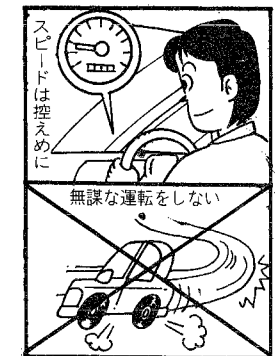
三択クイズ（テーマは「林業」）

【第1問】 県内の林業就労者は、年々減少しています。国勢調査結果をみると、昭和35年の7,890人が、60年にはどの位に減少?  
①3分の1 ②4分の1 ③5分の1

【第2問】 県内の林業経営の動向をみると、近年「栽培きのこ」による収益が多くなってきており、平成2年には、林業生産額全体の約何割?  
①3割 ②5割 ③7割

【第3問】 日本は、木材の需要が多いといわれています。平成2年には、65,398千㎡の木材（素材）需要がありました。そのうちどのくらいを外材（輸入材）に依存しているか?  
①55% ②65% ③75%

【第4問】 日本は、様々な国から木材を輸入しています。では、平成2年に日本が、一番多く木材の輸入をした相手国は?  
①アメリカ合衆国 ②カナダ ③インドネシア



- ③ 全速度を守る。
- ④ 急加速、急ブレーキ、急ハンドルなど急激な操作は避けましょう。
- ③ 車間距離は通常の2倍以上とする。
- ④ 視界不良時は、前方をよく見て早めに徐行する。
- ⑤ 4WDの過信は禁物。
- ◆冬の踏切安全通行5則  
①スリップ、脱輪防止のためチェーンなどの滑り止めを使用する。
- ②一旦停止後、発信したらギアチェンジしないで一気に渡る。
- ⑤ 自分の車の力を過信しないで、遠回りでも安全な踏切を渡る。



前ページのこたえ —

【第1問】 ③5分の1  
当県の林業就労者は、昭和60年には、1,665人で、年齢構成をみると、40歳未満の人が35年の56%から、60年には16.6%に減少しており、林業の担手不足が懸念されます。

【第2問】 ②5割  
当県における平成2年の林業粗生産額は12,850百万円で、そのうち栽培きのこが6,387百万円となっています。

【第3問】 ①55%  
平成2年には65,398千㎡の木材（素材）需要に対し、36,098千㎡を外材に依存していました。その用途は製材用が66.6%を占めています。

【第4問】 ①アメリカ合衆国  
平成2年には、アメリカ合衆国から13,137千㎡と輸入量全体の34.5%を輸入しています。